

# 園田高弘 Memorial Series in 2023

「ピアノは歌詞の無い歌、無言歌のようなものだ。  
背景にあるものをすべて自分の内に蓄積して、  
それが血となり肉となって、初めて指先から音楽が生まれてくる。」

園田高弘 著『ピアニスト、その人生』より



## ドイツ撰集 ライプツィヒ篇



高橋 礼恵



大崎 結真



岡田 将



平井 千絵



ドウオール



川井 綾子



青柳 晋



島田 彩乃

- J. S. バッハ  
半音階的幻想曲とフーガ (岡田将)
- C. P. E. バッハ  
幻想曲 クラヴィーア曲集 Wq.58より (平井千絵)
- F. メンデルスゾーン  
厳格な変奏曲 Op.54 (川井綾子)
- F. メンデルスゾーン  
アンダンテと華麗なるアレグロ Op.92 (青柳晋 & 島田彩乃)
- R. シューマン  
アレグロ Op.8 (大崎結真)
- R. シューマン  
幻想曲 Op.17 (高橋礼恵)
- M. レーガー  
6つのワルツ Op.22 (ドウオール)

2023

10/14 (土)

pm2:00 開演 1:30 開場

東京文化会館小ホール

JR「上野駅」公園口より徒歩1分

3000円 (全自由席)

● チケット取扱い  
東京文化会館チケットサービス ☎ 03-5685-0650  
チケットぴあ <http://pia.jp/t> [pコード245890]

● お問い合わせ/チケット取扱い  
スピカ ☎ 03-3978-6548 ✉ [spica@sepia.ocn.ne.jp](mailto:spica@sepia.ocn.ne.jp)

【主催】スピカ

## 園田高弘Memorial Series

終生、演奏家としての活動に情熱を傾けながらも、  
若きピアニストのリサイタルシリーズを立ち上げ、力を注いだ故・園田高弘氏  
シリーズ出演者が、巨匠への敬意と感謝を胸に、心を込めて1曲、1曲と弾き繋ぐシリーズ



岡田 将  
Masaru Okada

高校在学中に日本音楽コンクール優勝。ベルリン芸術大学で学び、リスト国際ピアノコンクール優勝(日本人初)など多数のコンクールで優勝・入賞。出光音楽賞、日本ショパン協会賞などを受賞。現在、神戸女学院准教授、エリザベト音楽大学非常勤講師。



平井 千絵  
Chie Hirai

桐朋学園大学ピアノ科卒業後、ハーグ王立音楽院古楽科を首席で卒業。IYAP国際古楽コンクール優勝など多くのコンクールに入賞し、フォルテピアノ奏者として活躍。現在、東海大学、国立音楽大学、東京藝術大学非常勤講師。



川井 綾子  
Ayako Kawai

桐朋学園大学卒業後、パリ・エコールノルマル音楽院を首席で卒業。サレルノ国際コンクール、マリア・カナルス国際コンクールで最高位となるほか、多数のコンクールで入賞。リリースした2枚のCDが『レコード芸術誌』の連載で邦人代表盤に選ばれた。



青柳 晋  
Susumu Aoyagi

桐朋学園大学在学中にベルリン芸術大学に留学。ロン＝ティボー国際音楽コンクール入賞、ハエン、アルフレード＝ガゼッラ、ポリーノの各国際コンクール優勝。青山音楽賞、日本ショパン協会賞を受賞。現在、東京藝術大学教授。



島田 彩乃  
Ayano Shimada

桐朋女子高校音楽科を首席で卒業。パリ国立高等音楽院、エコールノルマル音楽院、ライブツィヒ音楽大学で学ぶ。ジャン・フランセ国際コンクール優勝など多くのコンクールに入賞し、ソロ・室内楽で活躍。上野学園、洗足学園音楽大学講師。



大崎 結真  
Yuma Osaki

東京藝術大学附属高校を卒業後、イモラ音楽院、パリ国立高等音楽院大学院で学ぶ。浜松、ロン＝ティボー、ルービンシュタイン、ジュネーブ、リーズ他、多数の国際コンクールに入賞後、国内外で活発に演奏活動を行う。日本ショパン協会賞を受賞。



高橋 礼恵  
Norie Takahashi

桐朋学園大学を首席で卒業。ベルリン芸術大学・同大学院にて学ぶ。ボン・ベートーヴェン国際コンクール2位など、多数のコンクールで上位入賞。近年は、ベルリン芸術大学教授のビョルン・レーマンとのピアノデュオにも力を注ぐ。現在、ベルリン在住。



ドウオール  
藤井隆史 & 白水芳枝

東京藝術大学卒。マンハイム音楽大学大学院ソロ科、ピアノデュオ科最優秀修了。これまで日欧米にて受賞し、国内外で850近いステージを踏む。06年青山バロックザール賞受賞。現在、武蔵野音大、国立音大、洗足学園大学院、各講師。



園田 高弘 (1928年9月17日～2004年10月7日)

1948年東京音楽学校(現・東京藝大)を卒業し、日本交響楽団(現・N響)との共演でソリストとしてデビュー。1954年、初来日したカラヤン指揮のN響と共演。それがきっかけとなりベルリンフィルとの共演などヨーロッパ各地で活躍。国際的ピアニストとして、エリザベト、ショパン、チャイコフスキーなど世界の名だたるコンクールの審査員を度々務める。終生、演奏活動に情熱を傾けるとともに、後進のための活動にも心血を注ぎ、日本の音楽界を牽引。1971年芸術院賞、77年モービル賞、97年サントリー賞、98年文化功労者顕彰などを受賞。1980年芸術院会員